



楽器のある風景 ① ～インドネシア・ジャワ島～

南の国の竹のベル

赤道に散らばる“エメラルドの首飾り”と形容されるインドネシアは、大小 13,000 余の島からなる国。東西の距離は 7,000 キロ。アメリカ合衆国やヨーロッパがすっぽり入ってしまう大国だ。島ごとに、あるいは民族ごとに、独自のすばらしい文化が息づく。音楽ではバリ島やジャワ島のガムランがあまりにも有名だが、他にもたくさんの楽器と音楽がある。

西ジャワの竹製ハンドベル「アングルン」もそのひとつ。子供から大人まで楽しく演奏している。学校教育でも使われるし、ママさんコーラスならぬママさんアングルン活動も活発で、愛好家が集うアングルン大会も毎年開かれているようだ。

そのアングルンの製作と演奏のメッカが、首都ジャカルタから車で 3 時間半、インドネシアのパリといわれる学術都市バンドンにある。一般に〈アングルン村〉とよばれるこの場所は、3～4 世代が

住む大家族の屋敷。アングルンの製作と販売の他、観光客相手の演奏会を付設ステージで毎日行っている。

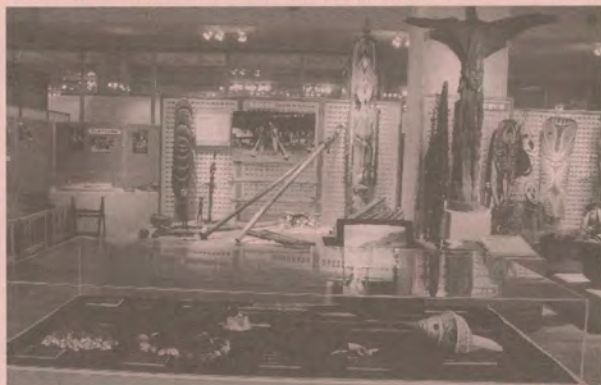
写真は、その演奏会の様子。5 歳くらいの子供から大人まで、民族衣装に身を包んで一族 30 人ほどが総出演のステージは、歌あり踊りあり人形劇ありと多彩で楽しい。観客のアングルン体験コーナーもある。演奏はといえば、これがまた至極上手い。一人が 2～3 台のアングルンを完璧に操っている。自分の背丈ほどもあるアングルンを演奏することもたちの姿が、なんともかわいい。

アングルンは、タイ辺りからインドネシアまで東南アジア各地に分布するが、海外にも知られるほど有名なのは、この西ジャワのものだろう。お土産店で小型のものは簡単に手に入る。カラカラという音が日本人の耳には何とも心地良い。太陽と風と海を連想させる、南国の明るい音である。(KS)

神と精霊の楽器が集った...

特別展『オセアニアの楽器』終わる

3月24日(土)から始まった特別展「オセアニアの楽器」が5月6日(日)に終了しました。会期中の来場者は約7,000人。パプアニューギニア・セピック川流域の割れ目太鼓「ガラムート」や聖なる「竹笛」、祭りの太鼓「クンドゥ」、ワニが動く音を出す聖なる「水太鼓」、オーストラリア・アボリジニが使うユーカリの木のトランペット「ディジェリドゥ」、ハワイの石のカスタネット「イリイリ」、ヴァヌアツの世界最大の割れ目太鼓「タムタム」、ニューアイルランド島の、死者を追悼するために、こすって音を出す太鼓「ヌヌート」(国立民族学博物館所蔵)、セピック川流域の儀礼用大型椅子(野外民族博物館リトルワールド所蔵)など、広大なオセアニアの多種多様な楽器と民俗資料約200点が展示され、来場者は熱心に見学していました。中で



展示室の様子

も楽器博物館がニューギニアで収録したガラムートや聖なる竹笛が演奏される様子や、お祭り「シンシン」の映像は、大きな関心をひきました。

会期中4月14日(土)2時からは、研修交流センターにて立教大学教授豊田由貴夫氏による講演会「神と精霊の伝説～パプアニューギニアの森から～」が行われ、スライドを使って、神や精霊と生活を共にする人々の姿が紹介されました。約50人の参加者からは「ニューギニア芸術を生み出す精神構造は何か」など活発な質問が出されました。

また、5月3日(木)午後には地階展示室ステージにてHIDE 190さんとその仲間によるディジェリドゥのミニ演奏会が行われ、のべ350人あまりの聴衆は、鳴り響く低音の神秘的な力に酔いしれていました。

(KS)



ディジェリドゥのミニ演奏会

新たに出発 楽器博のレクチャーコンサート

平成7年4月の楽器博物館開館と同時に始まったレクチャーコンサートは、平成10年度から12年度まで3年間浜松市アクトシティ音楽院所管となっていました。今年度より再び楽器博物館所管となり、新たに出発。すでに2つのコンサートが行われました。

5月19日(土)2時からは研修交流センター21音楽セミナー室にて「ウッド・琵琶・リュート～ある楽器の東西変化～」。

古代ペルシアの楽器を共通の祖先とする日本の琵琶、中国のピパ、アラブのウッド、ヨーロッパのリュートが一堂に会しました。この4つの楽器は、それぞれの文化の中で独自の発展をしたため、音色も奏でられる音楽も全く異なりますが、ただひとつ外観に共通点が残っています。糸巻き部分の柄が、直角に近く折れ曲がっていることです。

コンサートでは、常味裕司さんのウッド、永田平八さんのリュート、孟仲芳(モン・ジュンファン)

さんのピパ、岩佐鶴丈さんの薩摩琵琶の名演奏と解説で、それぞれ自慢の音楽を披露。所変われば・・・ということを実感した演奏会でした。

続く6月17日(日)2時からは同会場で「ハーディ・ガーディとミュゼット～フランス宮廷と田園の宴～」。

世界に数えるほどしか演奏者がいない、フランス18世紀宮廷で愛好されたバグパイプのミュゼットと、回転する円盤で弦をこすって鳴らすハーディ・ガーディが主役のコンサート。スライドによるフランス文化の解説も交え、バロック・チェロ、バロック・オーボエ、博物館所蔵の18世紀フランスのブランシェ製チェンバロも加わり、宮廷衣装を着たフランス人演奏家「ラ・ノース・シャンペートル」4人による珍しい楽器の優雅な演奏に、聴衆は耳を傾けていました。(KS)



「ウッド・琵琶・リュート」

夏休み

平成13年 7月20(金)～8月31(金)

企画展「おととあそぼう」で楽しもう♪

～夏休みの1日、おととあそんでみませんか～

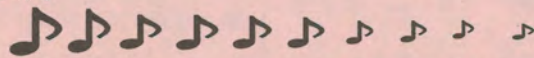
「楽器は音を出すためのもの。じゃあ、人はどんな音がほしいのだろう。」こんなことを考えて、夏の企画展では、楽器になる前の「音」をとりあげてみます。癒しの音楽が注目されている昨今、ちょっと「音」に注目してみましょう。内容は大きく分けて次の3つ。ぜひお越しください。



自然の音づくりコーナー

■夏休み。海辺で潮風に吹かれたり、海の音に包まれながら泳いだり……たんぼや池の周りではカエルが飛び跳ねています。記憶に残る風景には音がつきもの。こんな音を自分たちで作っちゃおう！どうやって作るのか、タネやシカケは楽器博物館に来てからのお楽しみ。

音の発見コーナー



■あるぞあるぞ・・・世の中には音の出そうなものがいろいろあるぞ。八百屋さんで見たことがあるぞ。工事現場で見たことがあるぞ。道ばたや、家の中にもあるぞ。振ってたたいて音を確認してみよう！意外な音が発見できるかもね。

楽器づくりコーナー

■8/4(土)リコーダー型たてぶえ(1,000円/高校生以上15人)、11(土)ハーモニカ(1,100円/小学5年生以上15人)、25(土)サンザ(1,200円/小学生15人)です※カッコ内は(費用/対象)。いずれも1時から楽器博物館にて。申し込みと詳細は7/17(火)より電話で楽器博物館へどうぞ。

次回7/14(土) 2:00PM

第37回 レクチャーコンサート

「ハンドベル～天使からの贈り物～」

レクチャーコンサート第3弾は、皆さんよくご存知のハンドベルが登場。日本でもアマチュアの演奏グループがいくつかありますし、幼児教育でも簡素なタイプのもので使われていますが、レクチャーコンサートに登場するのは世界トップクラスの日本のプロ・アンサンブル「チェンバー・リングング・ソロイスト」(7名編成)の皆さん。

ハンドベルといえばクリスマスを連想しますが、ヨーロッパでは、日常生活で教会の塔にある複数の鐘を鳴らすため、室内での練習用にと400年ほど前イギリスで考案されたのが始まり。その後、ハンドベルだけで独立して演奏される機会も増え、村々に自慢の合奏団ができました。

大小数十個のベルが生み出す幻想的で澄んだ響きは、まさに「天使からの贈り物」という言葉がぴったりです。

夏の午後後の爽やかなハンドベル、どうぞご期待ください。



楽器博物館所蔵の1874年頃イギリス製のハンドベルとそのケース。
(※レクチャーコンサートでは現代のハンドベルを使います)

展示室にお目見え

インドネシア・ジャワ島のガムラン

6月10日(日)より1階展示室入り口正面に、インドネシア、中部ジャワ地方の青銅の打楽器「ガムラン」の一部を展示しています。ガムランは観光地として有名なバリ島のものがよく知られていますが、ジャワ島のものはバリ島のものよりはるかに規模が大きく、楽器の数も多くなっています。今回展示しているのは、直径1mほどのゴングほか17点です。金色に輝くこの楽器は、ひときわ入館者の目をひいています。

このガムランを使ったレクチャーコンサート「ジャワ・ガムラン～壮大な音の宇宙～」が10月21日(日)に、企画展が10月2日(火)から行われます。また、ガムラン演奏の実技講座も9月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)に予定しています。



◆博物館日誌

- 3/24～5/6
特別展「オセアニアの楽器」
地階展示室 入場者：6,676人
- 4/1.8.15.22.29
展示室ガイドツアー
- 4/14
特別展講演会
「神と精霊の伝説～パプアニューギニアの森から～」
14:00 研修交流センター401会議室
講師：豊田由貴夫（立教大学教授） 参加者：43人
- 4/29
ミュージアムサロン「チェンバロ・ミニコンサート」
出演：小玉宏（チェンバロ演奏家）
参加者：120人
- 5/6.13.20.27
展示室ガイドツアー
- 5/3
特別展ミニコンサート
「オーストラリア・アポリジニのディジェリドゥ」
13:45, 14:45 地階ステージ
出演：HIDE190（イダキ〈ディジェリドゥ〉奏者）
参加者：352人
- 5/5
ミュージアムサロン「馬頭琴ミニコンサート」
出演：リポー（馬頭琴奏者） 参加者：160人
- 5/9～11 移動博物館（浜松市立五島小学校）
- 5/19
レクチャーコンサート
「ウード・琵琶・リュート～ある楽器の東西変化～」
14:00 研修交流センター21音楽セミナー室
出演：常味裕司（ウード奏者）岩佐鶴丈（琵琶奏者）
永田平八（リュート奏者）
モン・ジュンファン（ピバ奏者） 参加者：112人
- 5/21～25 移動博物館（浜松市立萩丘小学校）
- 6/3.10.17.24
展示室ガイドツアー
- 6/9
ミュージアムサロン「クラリネット・ミニコンサート」
14:00 地階展示室
出演：セルフィーユ・クラリネット四重奏
参加者：55人
- 6/10
ミュージアムサロン「三味線」
14:00 地階展示室
出演：岡久美子（当館学芸員） 参加者：23人
- 6/11～15 移動博物館（浜松市立新津小学校）
- 6/17
レクチャーコンサート
「ハーディ・ガーディとミュゼット
～フランス宮廷と田園の宴～」
14:00 研修交流センター21音楽セミナー室
出演：ラ・ノース・シャンペートル（フランス）
参加者：161人
- 6/26～30 移動博物館（浜松市立中郡小学校）

◆3月～5月の観覧者数

| | 3月 | 4月 | 5月 | 3ヶ月の合計 | 開館からの累計 |
|----|-------|-------|-------|--------|---------|
| 大人 | 4,039 | 3,247 | 5,123 | 12,409 | 418,739 |
| 中人 | 823 | 77 | 309 | 1,209 | 16,460 |
| 小人 | 729 | 692 | 1,418 | 2,839 | 94,177 |
| 幼児 | 434 | 314 | 400 | 1,148 | 24,468 |
| 計 | 6,025 | 4,330 | 7,250 | 17,605 | 553,844 |

◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー
7/1.8.15.22.29 8/5.12.19.26 9/2.9.16.23.30
原則として11:00、14:00
- ミュージアムサロン
楽器ワンポイントミニ講座
7/29, 「アंकクルンをひこう」講師：楽器博物館職員
8/19, 「アルパ・ミニコンサート」出演：長島忠之
9/16, 10/7, 11/11, 12/23, 1/2, 2/10, 3/3
時間は開催日により異なりますのでお問い合わせ下さい
- 展示品の演奏デモンストラーション
毎日10:00～16:00 一時間毎
- レクチャーコンサート
「ハンドベル～天使からの贈り物～」
7/14（土）14:00 研修交流センター21音楽セミナー室
出演：チェンバー・リングング・ソロイスツ
- 企画展「おととあそぼう」
7/20（金）～8/31（金） 地階展示室
- 企画展楽器づくりワークショップ 13:00
8/4（土）「リコーダー型たてぶえ」講師：徳永隆二
8/11（土）「ハーモニカの巻」講師：神谷嘉孝
8/25（土）「サンザの巻」講師：ロビン・ロイド
- 講座「楽器の中の聖と俗」14:00
9/1（土）「ヴァヌアツの足踏み踊り」
11/17（土）「ポルトガルのフォークダンス」
1/19（土）「陸奥（みちのく）に舞うオニ・シカ・トラ」
講師：西岡信雄（大阪音楽大学学長）
研修交流センター62研修交流室
- ワークショップ「ジャワ・ガムランに挑戦しよう」
Aコース：9/8（土）、9（日） Bコース：9/22（土）、23（日）
インドネシア・ジャワ島のガムランの演奏実技教室です。
講師：風間純子（中京女子大学助教授）
- 企画展「ジャワ・ガムラン」
10/2（火）～11/18（日） 地階展示室
インドネシア・ジャワ島のガムランを紹介します。
- レクチャーコンサート
「ジャワ・ガムラン～壮大な音の宇宙～」
10/21（日）14:00 研修交流センター21音楽セミナー室
出演：ランバン・サリ
- 企画展講演会「ジャワ文化の根源を探る
～「ブンガワン・ソロ」は何を語っているのか～」
10/27（土）14:00 研修交流センター401会議室
講師：染谷臣道（静岡大学教授）
- 「新着資料展」
1/19（土）～2/11（月） 地階展示室
2001年に収集した楽器を披露します。
- レクチャーコンサート「トロンボーン～甦るルネサンスの響き～」
2/17（日）14:00 研修交流センター21音楽セミナー室
出演：大阪サックバット・アンサンブル
- 特別展「アフリカの楽器」
3/26（火）～5/6（月）（予定） 地階展示室
タンザニアをはじめとしたアフリカの楽器と音楽文化を紹介
します。

利 用 案 内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9:30～午後5:00
休館日：月曜日（祝日にあたる時は開館）、祝日の翌日、年末年始、
館内整理日（7/18、9/5、10/31、11/28、
12/5、19、1/30、2/27、3/27）

常設展観覧料：
個人 団体（20人以上） 団体（80人以上）
大人（大学生以上） 400円 320円 240円
中人（高校生） 200円 160円 120円
小人（小・中学生） 100円 80円 60円
※館内には、手荷物の持ち込みはできません。

浜松市楽器博物館だより

平成13年6月30日発行

№24

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

TEL. 053-451-1128

FAX. 053-451-1129

URL: <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gakki/>

gaku@gakki.city.hamamatsu.shizuoka.jp

印刷 株式会社シバプリント